

2019年 南砺市中学生 中国紹興市訪問の感想（抜粋）

2019年に中国紹興市に9名の南砺市内中学生が派遣されました。

感想の一部を
紹介します！



紹興市

紹興市にある東湖に行き、足こぎ舟に乗りました。足こぎ船は、名前の通り足でこぐ舟です。とても足でこいでいるとは思えないくらい速く進み、現地の人々の熟練の技を感じました。魯迅故里の近くにも小さな水路にたくさんの足こぎ舟が停まっていた。魯迅の故里のほかにも、蘭亭、周恩来祖居など、歴史ある建造物がたくさんありました。今回の研修で、中国が歴史を守り続けていること、どれだけ歴史を重んじているかということ学びました。

文瀾中学校

私達は、紹興市にある文瀾中学校へ行きました。歓迎会の後、授業を一緒に受けました。午前の授業は英語と体育でした。特に印象に残っていることは、英語の授業でグループに別れ、ミルクバナナシェイクを作ったことです。自分が思っていた中国の英語の授業とは全く違って驚いたけれど、それ以上に楽しかったです。また、発音もよかったので、私も頑張りたいなと思いました。

ホームステイ

ホームステイが始まる前、ホームステイ先の家族や学生とうまく話したり、交流したりできるかとても不安でした。ご飯を食べ終わると、ホームステイ先の学生とメールアドレスを交換したり、湖に夜景を見に行ったりして交流をしました。夜景はとても綺麗で、ホストファミリーはみんなとても親切に話しかけてくれてとても良い思い出になりました。これまで、中国の人にもっていたイメージと異なり、今回のホームステイを通し、明るく、親切な人達なのだと知りました。

6日間を振り返って

初めは長いと感じていた6日間。しかし、中国で過ごすにつれてどんどん短く感じられました。学校で学ぶ6日間では到底補いきれないような体験をさせていただきました。日本人は中国や中国人にあまり良いイメージをもっていないと思います。ですが、絶対に一度行ってみればその考えは変わると思いました。中国で見聞きした多くのことを友達や家族に広めたいと思います。そしてこれからは素直な気持ちで物事を受け取ることに、これを大切にしたいです。

